

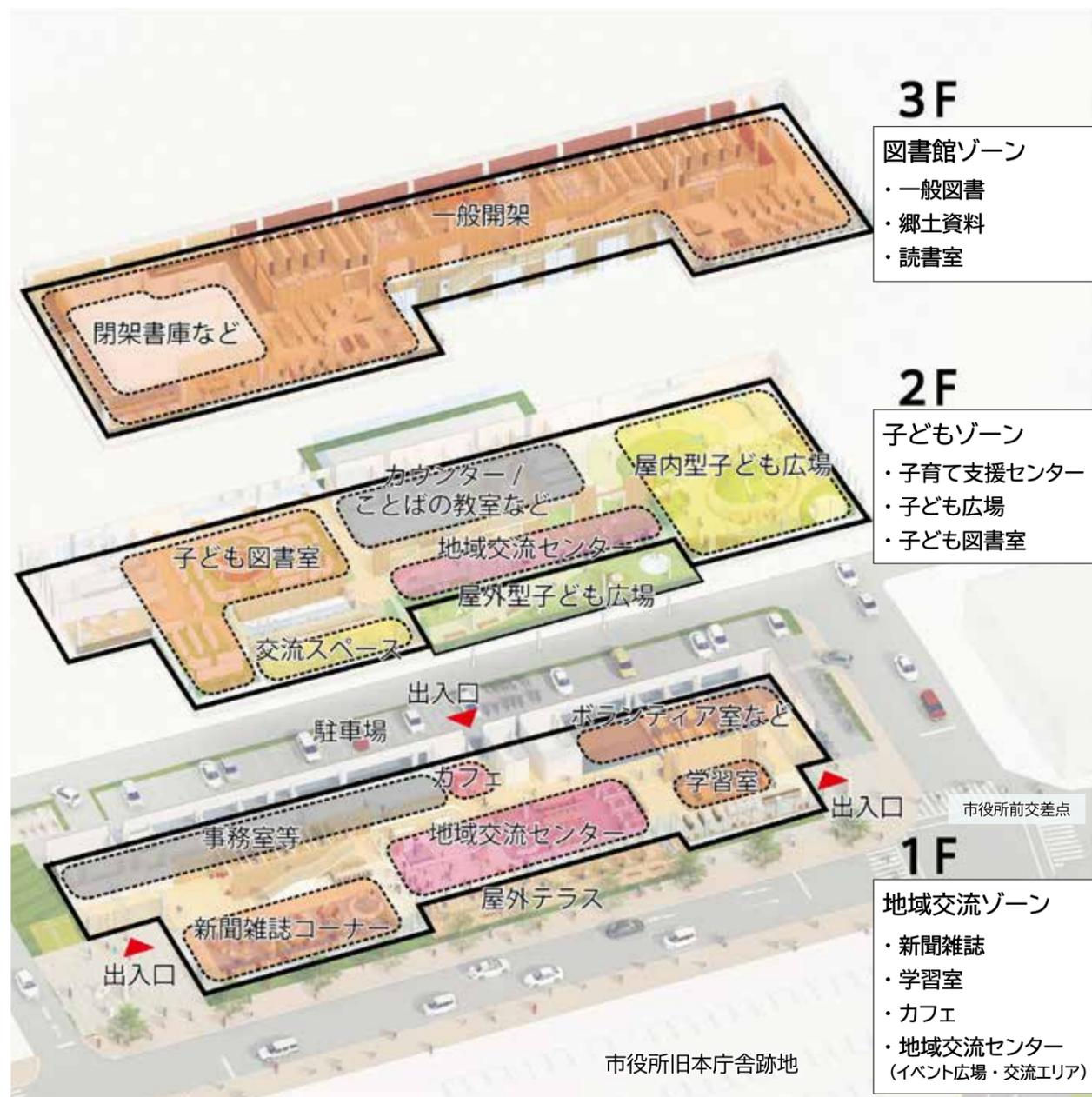
事業費の内訳

建設工事費	29億9,640万円	複合施設、駐車場等の工事費
設計調査費	2億5,850万円	設計費、事前調査費
備品購入費	5億5,330万円	遊具、本棚等の購入・設置費
合計	38億820万円	

施設の概要

所在：真岡市荒町5131番地（新庁舎北側、附属体育館跡地）
 構造：鉄骨造、3階建て
 面積：延べ6,832㎡（予定）

市では、平成29年から新庁舎周辺整備事業として検討を開始し、平成31年3月に基本構想、令和2年5月に基本計画を策定してきました。
 施設の設計建設、維持管理運営を行う事業者を選定するため、大学教授等の学識経験者3名を含む事業者選定委員会によって、最も優れた提案を選定し、市議会12月議会で審査、議決され、正式に事業者が決定しました。



「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」

複合交流拠点として令和7年春に開館予定



新庁舎周辺整備事業の概要が決定しました

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点とは？

子育て支援センターや、屋内外の子ども広場と、図書館、地域交流センター、カフェを備えた複合施設で、子どもから高齢者まで多くの人が訪れ、市民の居場所となる施設を目指しています。

1階は地域交流ゾーンとして、地域交流センターのほか、新聞雑誌コーナーやカフェがあります。また、イベントスペースとして、講座の開催や市民の活動・交流など、さまざまな用途に活用できます。

2階は子どもゾーンとして、現在は別々の場所にある「子育て支援センター」と「図書館の子ども図書室」の機能に、新たに、屋内・屋外の子ども広場が加わります。ここでは、子育ての相談窓口に加えて、雨の日でも親子で安全に遊んだり、声に出して本を読んだり、読み聞かせ会に参加することもできます。

3階は、これまで通り静かな図書館として、読書や学習を楽しむことができます。また、施設内の全ての場所で、飲み物を飲みながらの利用が可能です。

